

YARLAND JAPAN

VACUUM TUBE AMPLIFIER

TJ6P1-P

Data Gate Inc.

株式会社 データ ゲート

〒530-0043
大阪市北区天満 2-12-13 ノイエビル
TEL.06-6356-6055

<http://data-gate.com/yarland/>

Operating
Instruction

製品をご使用になる前に、必ずこのマニュアルをお読みください。また、なくさないように大切に保管ください。

ご使用前に

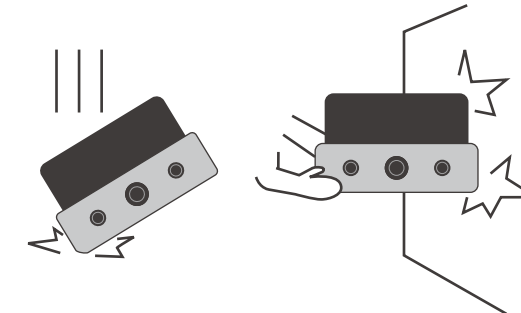
商品開封後は商品および付属品に破損や欠品がないかをご確認ください。

- ・欠品や破損などがある際は、すみやかに販売店または製造元にご連絡ください。
- ・修理などの移動用に、梱装箱や梱包材は保管しておくことをおすすめします。

製品内容	アンプ本体 / 真空管 (6P1×4, 6N3×3) / マニュアル(本誌) / 電源コード / 保証書
------	---

設置の際は、落下や衝突にご注意ください。

- ・製品の落下や衝突などによる、本体の破損またはお客様の所有物やその他一切の損傷については弊社では責任を負えませんのでご注意ください。
- ・また、落下などによりケガ等を負われた場合でも一切の責任を負えませんので、十分にご注意ください。



設置の際は必ず電源コードを抜いてください。

このたびは本製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

このマニュアルをよくご覧になった上で、本製品を長くご愛用ください。

安全上のご注意



警告

本製品は、国際電子機器安全規格(EN60065)と
EMC規格(electromagnetic compatibility)のEN 55013に準拠しています。

- 水につけたり、水をかけたりしない。
(感電や火災の原因)
・水がかかった場合は、直ちに電源プラグを抜いてください。
- スピーカーを接続しないで
アンプの電源を入れない。
- カバーを外さない。
(感電の原因)
- 分解や修理をしない。
(けがや故障の原因)
- 本体から煙が出たりやニオイや
異音が出たときは、直ちに電源ス
イッチを切り、電源プラグを抜い
てください。
- 本体底面のカバーは外さない。
・本体内部の高電圧部分に触れると感電や故障の原
因となります。本体内部の付属品または一部を改造
しないでください。電源プラグを抜いても、電源ラン
プが消えるまでお待ちください。

以下の場所で使用しない。(故障や誤動作の原因)
直射日光の当たる場所、ホコリや塵が多い場所、湿度の高い場所、台所、熱源機の近くなど。

- 安全で換気性の高い場所でご使用ください。
- 子供やペットがいる近くで使用しない。
- 熱を逃がすための通気口をふさがない。
(火災や誤動作の原因)
・次のガイドラインに従ってください。
設置する場合は、壁から1cm以上離す。
(温度が上がり、故障の原因)
換気が十分にできない場所で設置・使用しない。
(温度が上がり、故障の原因)
連続して6時間以上使用しない。ご使用前には時間
を空けてください。(温度が上がり、故障の原因)
- 本機に液体がかからないようにしてください。
・本機に水が入ると、感電や火災、誤作動の原因となります。
・本機に水が入った場合は、直ちに電源プラグを抜いてく
ださい。
- 本機の上に水の入った容器を置かない。
- 本機の近くに磁石を近づけない。
(誤動作や故障の原因)

■電源コードの取扱について

- 傷ついた電源コードを使用しない。
(感電や火災の原因)
・3ピンアースタイプのACプラグを使用の場合、必
ずアースを接地する。
- 電源コードを抜くときはコードを引っ張らない。
(コードが断線し、ショートなどによる
感電や火災の原因)
- 電源プラグやコードの上に家具や敷物、
重たい物を置かない。
(ショートなどによる感電や火災の原因)
- ヒーターなど暖房器具をご使用になる場合は、
本製品の電源コードから十分に離して設置する。
(コードのカバーが溶け、感電や火災の原因)
・電源プラグがお住まいのコンセントに適さない場合、
ヒューズが飛ぶ可能性があります。
13Aソケットの場合、感電の恐れがあります。
- 本製品に異物を入れない。
(火災や故障の原因)
- 通気口から金属製の物を入れたり、
燃えやすい物を入れたりしない。
(感電や火災、損傷の原因)
- トランスのカバーや真空管には触れたり、
引火性の高い物を近づけない。
ご使用中は変圧器のカバーが60°Cを
超え、真空管も非常に高温になります。
(やけどや火災の原因)
- 長期間ご使用にならない場合は、電源スイッチ
を切った上で電源プラグを抜いてください。
(やけどや火災の原因)

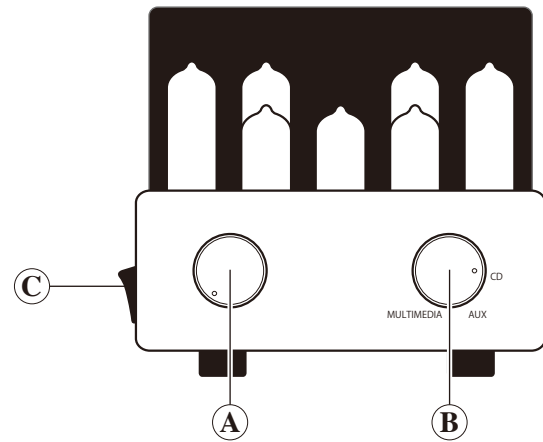
商品の保証については付属の「保証書」をご覧ください。

- ・ご購入後2年以内に、正常なご使用状態で製品が故障したときは、本保証書の記載に基づき、無償で修理いたします。
- ・保証期間を過ぎた商品は有償にて修理対応いたします。(製品により修理できない場合がございます)

また、ご自身でメンテナンスされる場合は以下の事に十分ご注意ください。

- 電源を切り、10Ω/10Wの抵抗を利用し、
電源コンデンサの両端を接続し、放電する。

前面パネル



Ⓐ ボリューム調整



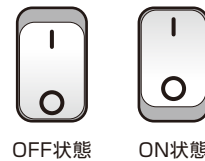
Ⓑ 入力選択 CD/AUX/MULTIMEDIA (USB)

Ⓒ 電源スイッチ

電源スイッチは左側面奥にあります。

ご注意： ※スピーカーを接続しないで、電源を入れないでください。

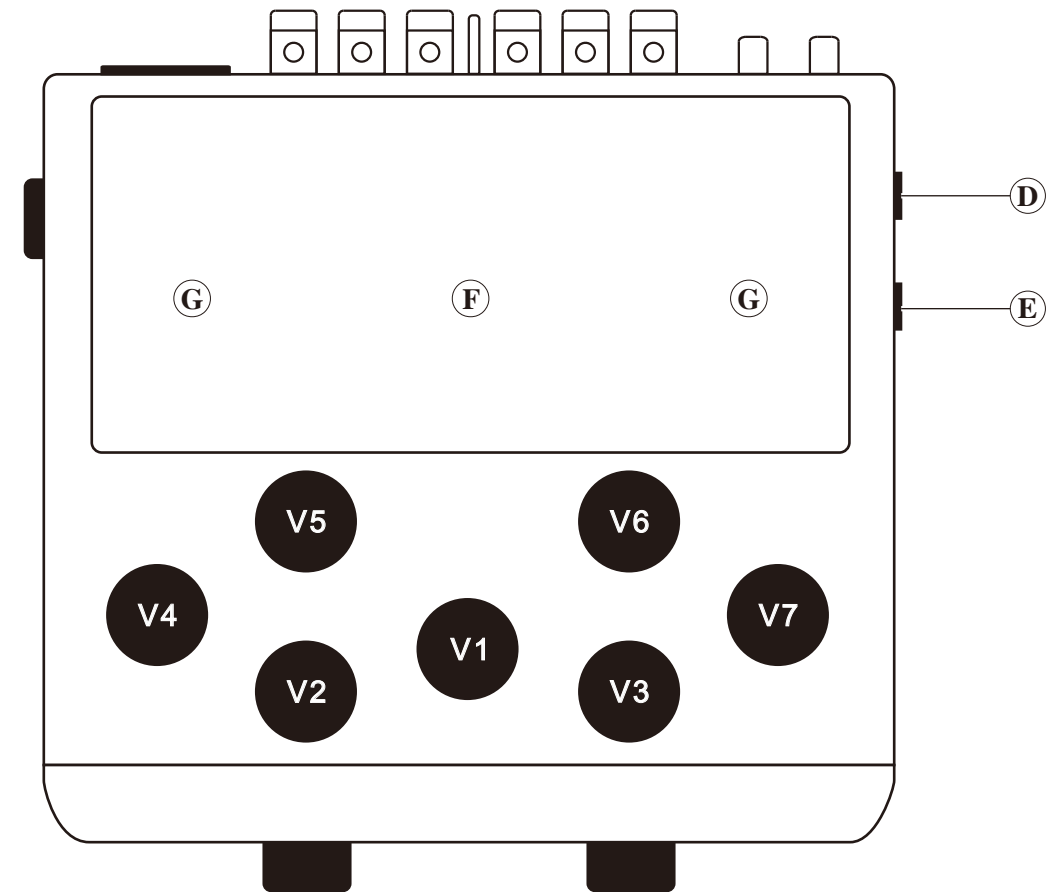
※電源を入れる前に音量を最低まで下げ、
電源を入れた後にお好みの音量に調節してください。



本機にリモコン機能はありません。

TJ6P1-P

本体構成



Ⓓ イヤホンジャック (6.5mm)

イヤホンジャックは右側面奥にあります。

インピーダンスが16~64Ωのヘッドフォンを使用してください。

※背面の Ⓙ のスイッチを「EARPHONE」(下)に合わせてください。

Ⓔ USB端子 (DAC内蔵)

B端子、16-Bit、SamplingRate:32,44.1,48kHz、SNR:98dB

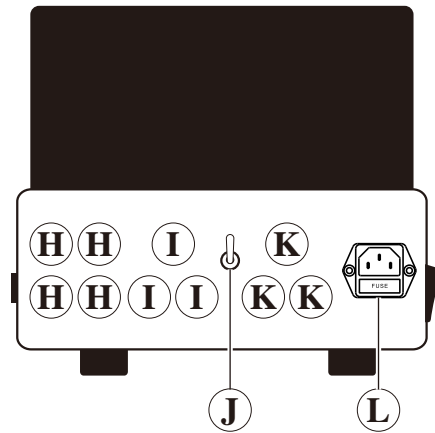
Ⓕ 電源トランス

ご注意： ご使用中は表面温度が60℃以上になります。
引火性の高い物は近づけないでください。

Ⓖ 出力トランス

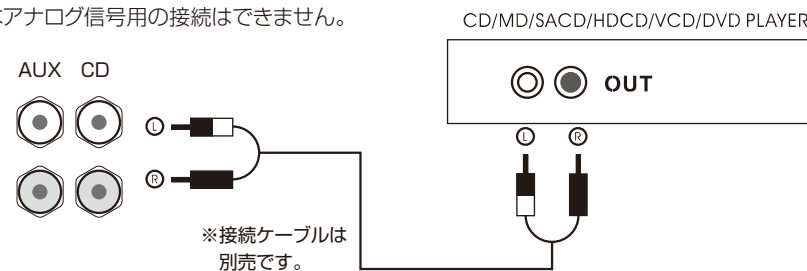
TJ6P1-P

背面パネル



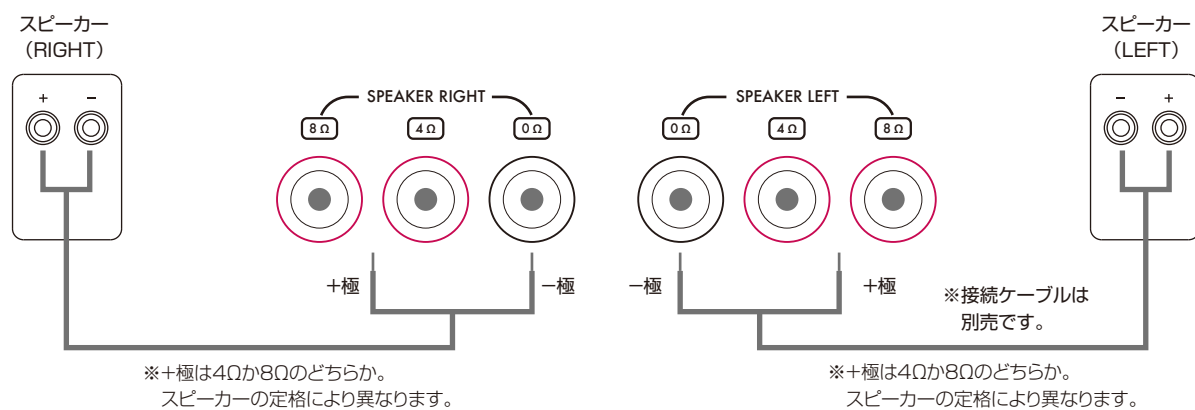
H CD/AUX 入力端子

「R」と「L」を間違えないように、よく確認してから接続してください。
レコードプレーヤーのようなアナログ信号用の接続はできません。



I スピーカー用端子「R(右)」

K スピーカー用端子「L(左)」



J スピーカー/イヤホン選択

スイッチを上にするるとスピーカーに、
下にするるとイヤホンに出力されます。



TJ6P1-P

■スピーカーケーブルの接続

スピーカーの左右(LR)と、アンプ背面端子の左右(LR)を間違えずに接続してください。

スピーカーのインピーダンスが

4Ωの場合 一極を「0Ω」に、+極を「4Ω」の端子に接続してください。

8Ωの場合 一極を「0Ω」に、+極を「8Ω」の端子に接続してください。

ご注意:

※ケーブルを端子につなく際、スパナやペンチなどを使用しないでください。

端子を破損させる原因となり、そのような場合は保証の対象外となります。

※ケーブルの接続を間違えると、ショートなど本製品の故障の原因となります。

※必ず正極(+)コードは正極(+)端子に、負極(-)コードは負極(-)端子に接続してください。

コードの接続方法

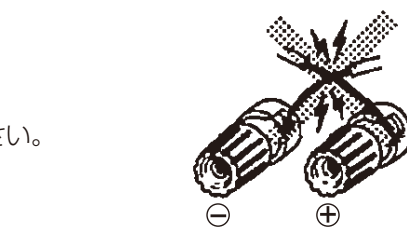
①コード端の外装を剥がし、
導線の中心部をねじる



②端子ノブを左に回す



③導線を挿入し、端子ノブを右に回す。
コードを引っ張り、確実に接続されて
いることをご確認ください。

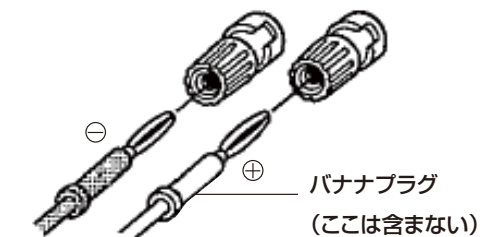


ご注意:

回路損傷の原因となりますので、
+極と一極のコードを接触させないでください。

バナナプラグを使用する場合

スピーカー端子ノブで確実に
固定してください。



① 電源ソケット／ヒューズボックス

付属の電源ケーブルを差し、もう片方をコンセントに差ししてください。

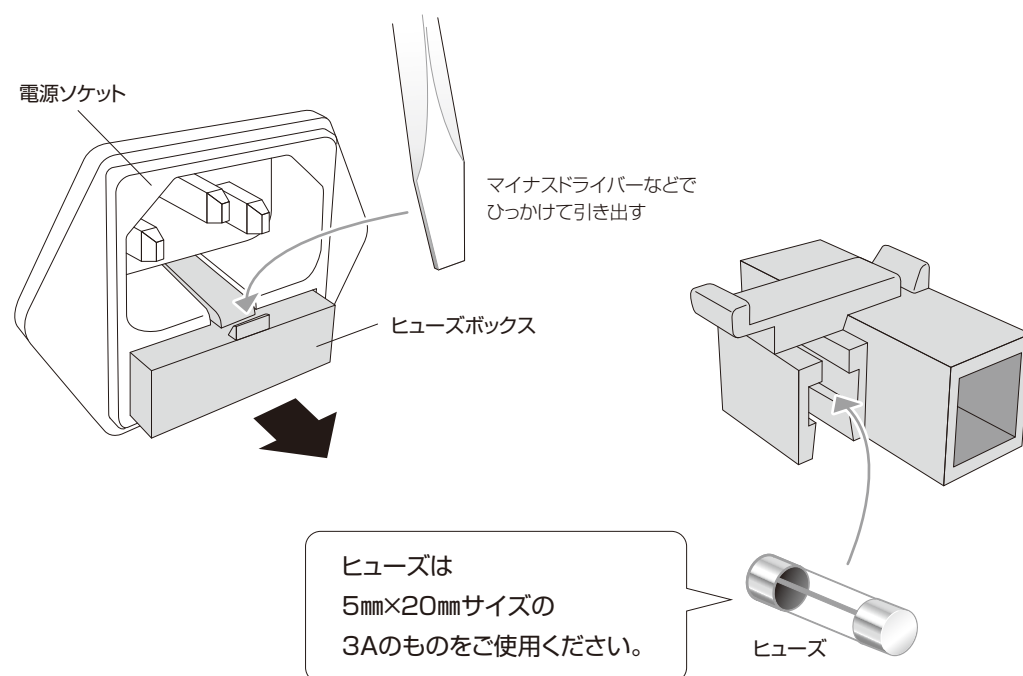
ご注意：コンセント側にはアースを接続してください。

■ヒューズの交換方法

ヒューズが飛んでしまった場合は、電源ソケット下のヒューズボックスにヒューズを取付けてください。

※ヒューズは本体内部にありますので、ご自身で交換することができません。

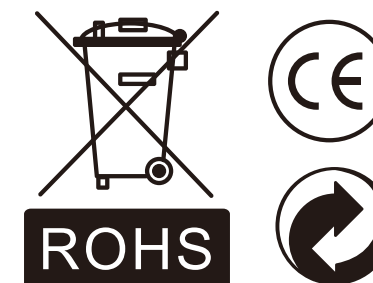
ヒューズボックスに新たに取付けてください。



製品仕様

パワー管	6P1(4本)
プリ管	6N3(3本)
working State	クラスA / プッシュプル
バイアス設定	セルフバイアス
最大出力	10w+10w
出力インピーダンス	4ohm And 8ohm
出力周波数帯	40Hz - 10KHz (-1dB)
SN比	89dB
入力インピーダンス	100kΩ
入力端子	CD / AUX / USB (DAC内蔵 ※)
出力端子	Headphone
消費電力	80W
本体サイズ (W × D × H)	200 × 230 × 152(mm)
重量	7.3kg

本体内部にサービスパーツはありません。販売店または製造元までご相談ください。
 ※ B端子, 16-Bit Sampling Rate: 32, 44.1, 48 kHz SNR: 98 dB



Q 電源が入らない（真空管や液晶画面が光らない）

A 電源コンセントがしっかり差まっているかをご確認ください。
また、ヒューズが飛んだ可能性があります。
新しいヒューズを取付けてみてください。 ➔ヒューズの取付け方は8ページ

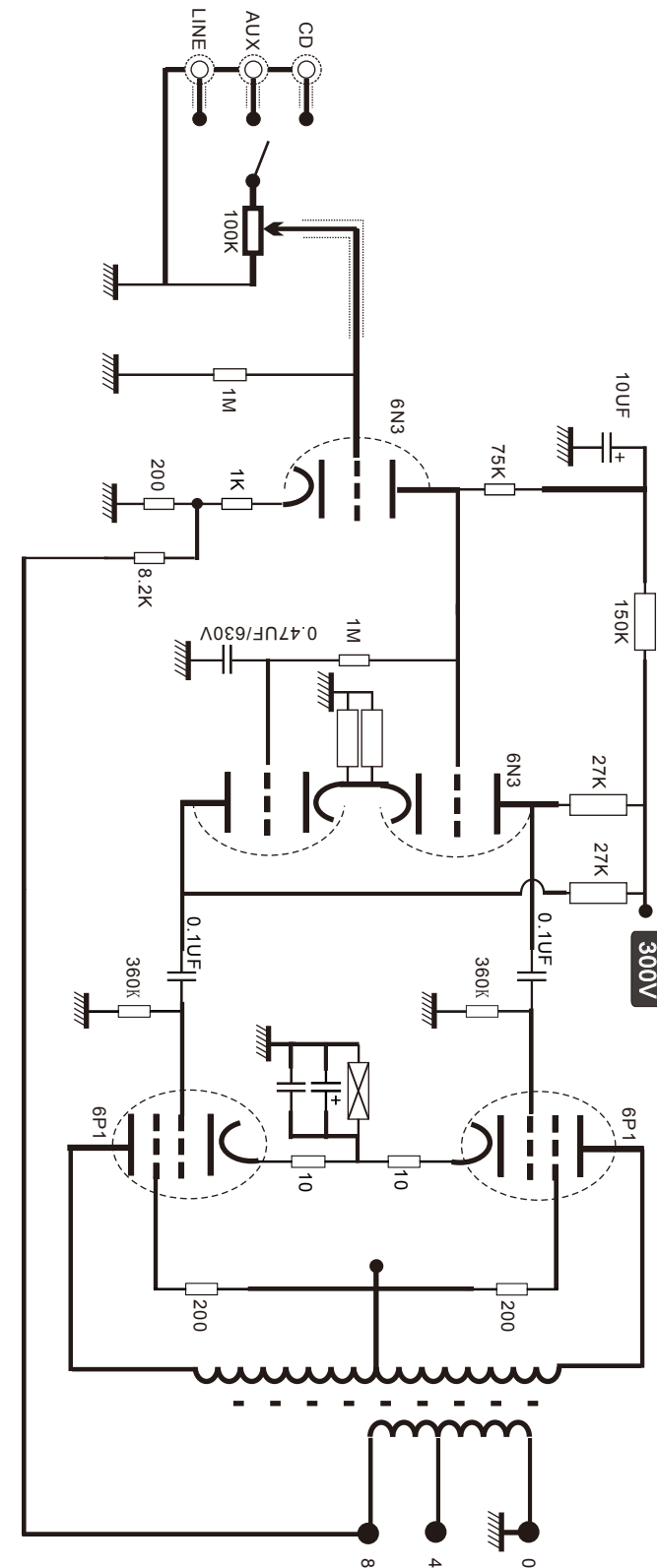
Q 真空管を交換したい

A 真空管の交換は以下の手順で行ってください。
※弊社取り扱い以外の真空管をご使用時に、それが原因で発生した故障については保証の対象外です。

- ① アンプの電源を切る
- ② 真空管を差替える
※使用していた真空管は高温ですので、取り外しは十分に注意してください。
※しっかりと奥まで差してください。
- ③ アンプの電源を入れる
※オートバイアスですので、調整は不要です。

Q リモコンは付属していますか

A 本製品はリモコン機能がありません。



構造図

